

甲乙付けがたい 第51回川薩畜産共進会

9月11日、第51回川薩畜産共進会が薩摩中央家畜市場で開催されました。

本町からも34頭が出品され、各部で日頃から牛の育成技術等の成果を競いました。

審査の結果、若雌1区で徳重真生さん、父系群の部で西千代子さん・小森悟さん・有木正一さんが最優秀賞1席に輝きました。

また、徳重真生さん、外圍孝一さん、西千代子さん、有木正一さんが、来る10月3日に開催される県畜産共進会への出品者に選出されました。

川薩畜産共進会上位入賞者及び県畜産共進会出品者は、次のとおりでした。



父系群の部最優秀賞1席に輝いた3頭

○若雌1区 最優秀賞1席
徳重真生（やすこ号）

若雌1区 最優秀賞2席
徳重真生（まつひめ号）

若雌1区 最優秀賞3席
羽子田ひとみ（はなこ1号）

○若雌2区 最優秀賞3席
外圍孝一（ゆり号）

○父系群の部 最優秀賞1席
西千代子（もも4号）
小森悟（やすふく2の4号）
有木正一（はるみ3号）

〃 最優秀賞2席
小園末廣（きらら号）
福留香（うめ6の4号）
池之野和則（かつこ5号）

※第58回県畜産共進会
10月3日（土）

始良郡中央家畜市場
（霧島市隼人町）

○若雌1区
徳重真生（やすこ号）

○若雌2区
外圍孝一（ゆり号）

○父系群
西千代子（もも4号）
有木正一（はるみ3号）



おそろおそろキジに触る園児

元気に育て！ キジ放鳥

8月26日に上宮保育園（平川）と山崎保育園で、園児によるキジの放鳥が行われました。

園児によるキジの放鳥は、今年で3回目を迎え、宮之城猟友会（山元幸雄会長）の協力のもと、両保育園で合計40羽を放鳥いたしました。

園児たちは、山元会長からキジの生態について説明を受けた後、最初はおっかなびつくりしながらも、両親や祖父母、地元の猟友会員の手助けで、キジの温もりを小さな手で感じながら、生後120日のキジを次々に放鳥しました。

猟友会では、毎年自然保護活動の一環として国鳥であるキジの放鳥を行っています。

宮之城温泉通り 歩道完成記念

「生ビールまつり」

8月21日、湯田の川内川河川敷広場において、宮之城温泉通り歩道完成記念「生ビールまつり」が行われ、浴衣姿の女性など、多くの来場者で賑わいました。

これは、温泉街の歩道が新しく改修された記念に、宮之城温泉通り会が主催し、8年ぶりに復活、開催されたものです。

当日は、屋台も出店し雰囲気盛り上げ、バンド演奏や抽選会などが行われ、夏の暑さも忘れて、大いに盛り上がりました。

また、温泉街の飲食店では、割安の飲み放題コースも設けられ、夜遅くまで賑わいました。



歩道完成に乾杯！



A賞に当選された田畑さん（右）

さつまスタンプ ラリー2009

さつま町農林産物等直売所連携会では、町内5箇所の直売所を巡るスタンプラリーを、7月18日から8月31日までの夏休み期間に実施しました。

期間中は、町内はもとより薩摩川内市・鹿児島市といった町外の方やお盆に帰省された方など多くの方が直売所を訪れ、238人の方がスタンプラリーに応募されました。

応募された方の中から、抽選で34人の方に「地上波デジタル対応テレビ」「さつま町特産品」などの商品がそれぞれ贈られました。

9月9日には、A賞（地上波デジタル対応テレビ）に当選された、薩摩川内市の田畑さんにテレビの贈呈式が行われました。

やっぱい宮吹！吹奏楽コンクール結果！ 宮之城吹奏楽団全国大会出場！！



7月26日から31日まで鹿兒島市民文化ホールで「第54回鹿兒島県吹奏楽コンクール」が開催されました。

一般の部に出場した宮之城吹奏楽団が代表金賞に選ばれ、九州大会出場の切符を手に入れました。

また、盈進小学校吹奏楽部の原田尚拓さんが、トランペットとホルンの持ち替え演奏で織部賞（個人）、薩摩中央高校が織部賞（団体）を受賞しました。

この織部賞は、鹿兒島県と歴史的な交流のある岐阜県が、審査員の印象に残る演奏にあてた賞です。

県吹奏楽コンクールでの代表金賞受賞を受け、8月30日、熊本県立劇場で開催された「第54回九州吹奏楽コンクール」に出場した宮之城吹奏楽団は、一般の部で金賞（受賞9団体中2位）を受賞、10月17日から18日、愛知

県名古屋国際会議場で開催される「全国吹奏楽コンクール」に、九州代表として出場が決定しました。

これに伴い、9月1日、宮之城吹奏楽団の紺屋団長は、全国大会への出場報告を、日高町長に行いました。

日高町長は「歴史ある吹奏楽団の日頃の成果が実を結び、誠に喜ばしいことです。全国大会でも頑張ってください。」と激励されました。



出場報告をする紺屋団長（中央）

富永克己さん

旭日単光章を受章



受章者の富永さん（左から2人目）

二渡在住の富永克己さん（88歳）が旭日単光章（高齢者叙勲）を受章され、8月27日、日高町長から富永さんへ伝達されました。富永さんは、宮之城町議を3期12年の永きにわたり務められました。また、宮之城町農業委員会委員や薩摩東部森林組合理事、監事としても活躍され、本町の農林業発展のため、ご尽力されました。今回、それらの功績が認められ受章されました。

夢を乗せて世界へ

水ロケット大会 国際大会へ出場！

8月27日、薩摩中央高校の荒田和徳教諭と同校1年の是枝充さんと福島孝平さんが、来る1月24日、タイのバンコクで開催される水ロケット大会への出場報告を日高町長に行いました。

3人は、国内で開催された書類選考や面接試験、実技試験を経て、日本代表チーム2チーム中の1チームとして選拔されました。

是枝さんは、「大会の趣旨が、水ロケット技術向上のほかに、この大会に集う参加者の交流も兼ねているので、この機会を生かし交流を深めてきたい」と抱負を話されました。



左から町長、是枝さん、福島さん、荒田教諭

「さつま町女性いきいき推進会議」を設置

9月10日、さつま町女性いきいき推進会議が設置され、町内在住の一般公募での申込者と女性団体からの推薦など12人に委嘱状が手渡されました。

この会議は、それぞれの仕事や地域活動での経験を基に、女性の視点でまちづくりや地域づくりなど町政に生かしていくことを目的としています。

町長との意見交換では、特に少子・高齢化は大きな問題であるという意見が多数出され、少しずつでも問題解決していきたいと意欲的な意見が出されました。



町長から代表で委嘱状を受け取る菊野さん